

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2009-277092(P2009-277092A)

【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2008-128790(P2008-128790)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 A

H 0 4 N 1/387

G 0 6 F 3/12 C

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

B 4 1 J 21/00 Z

B 4 1 J 5/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月5日(2011.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クライアントから画像と該画像を構成するオブジェクトとを受信する受信手段と、
前記クライアントの動作環境を、前記画像を構成するオブジェクトのメタデータとして
保存する保存手段と、

前記受信手段にて受信したオブジェクトの属性を評価する評価手段と、

前記評価手段によって属性を評価されたオブジェクトの属性を再評価することが指示さ
れた場合に、前記属性の再評価を行った記録をメタデータとして記録する記録手段と、

前記画像とは別の画像を受信する際、該画像に対して画像処理の指示をしたクライア
ントの動作環境が前記保存手段によって保存されたクライアントの動作環境と同一で、前記
記録手段によって属性の再評価を行った記録が有る場合に、受信した前記別の画像を構成
するオブジェクトの属性の再評価を実行する実行手段と

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記オブジェクトの属性の再評価を指示することが可能な画面の表示を指示する表示指
示手段と、

属性の再評価の結果に基づいて、前記オブジェクトの属性を更新する更新手段と
を更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記属性の再評価とは、前記再評価を指示されたオブジェクトに対して文字認識を行い

、前記オブジェクトのメタデータに再評価した結果の属性を用いて、前記メタデータを更新することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記メタデータは階層構造で保持され、

前記クライアントの動作環境と属性の再評価の記録は、前記クライアントから前記画像を受信した装置に共通のメタデータとして保持され、

前記オブジェクトの属性は、前記装置に共通のメタデータの下位層のオブジェクト単位のメタデータとして保持されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれ一項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記メタデータの階層構造は、前記クライアントから前記画像を受信した装置に共通のメタデータの下位層に保持されるジョブに共通のメタデータと、該ジョブに共通のメタデータの下位層に保持されるページに共通のメタデータとを更に有し、

前記オブジェクト単位に保存されたメタデータは、前記ページに共通のメタデータの下位層として保持されることを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記表示指示手段は、1つのジョブに含まれるオブジェクトから前記属性の再評価を行うオブジェクトを選択することが可能になるように表示する画面を生成する画面生成手段を有することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記表示指示手段は、1つのジョブに含まれるオブジェクトから、オブジェクトのサイズ及びオブジェクトのエッジ数に基づいてオブジェクトを選別する選別手段を有し、

前記画面生成手段は、前記選別されたオブジェクトから前記属性の再評価を行うオブジェクトを選択することが可能になるように表示する画面を生成することを特徴とする請求項 6 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記オブジェクトのサイズ及びオブジェクトのエッジ数は、ユーザからの指示を受けて決められた値であることを特徴とする請求項 7 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記表示指示手段は、1つのジョブに含まれるオブジェクトから、グラフィクスオブジェクト、又はイメージオブジェクトを選別する選別手段を有し、

前記画面生成手段は、前記選別されたオブジェクトから前記属性の再評価を行うオブジェクトを選択可能に表示する画面を生成することを特徴とする請求項 6 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記画像処理装置は画像形成装置であって、前記画像処理は印刷処理であり、画像を表わす PDL データを受信して中間データに変換して保存し、該中間データを展開してビットマップデータを生成して印刷することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

画像をクライアントから受信する受信手段と、

過去に前記クライアントから別の画像を受信し、該別の画像を構成するオブジェクトに対して評価された属性の再評価を行ったという情報がある場合、前記受信手段にて受信した画像を構成するオブジェクトに対して属性の再評価を実行する実行手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 12】

受信手段が、クライアントから画像と該画像を構成するオブジェクトに対する画像処理の指示を受信する受信工程と、

保存手段が、前記クライアントの動作環境を、前記画像を構成するオブジェクトのメタデータとして記憶部に保存する保存工程と、

評価手段が、前記受信工程にて受信したオブジェクトの属性を評価する評価工程と、記録手段が、前記評価工程によって属性を評価されたオブジェクトの属性を再評価することが指示された場合に、前記属性の再評価を行った記録をメタデータとして記憶部に記録する記録工程と、

実行手段が、前記画像とは別の画像を受信する際、該画像に対して画像処理の指示をしたクライアントの動作環境が前記保存工程にて保存されたクライアントの動作環境と同一で、前記属性の再評価を行った記録が有る場合に、受信した前記別の画像を構成するオブジェクトの属性の再評価を実行する実行工程と
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 13】

表示指示手段が、前記オブジェクトの属性再評価を指示することが可能な画面の表示を指示する表示指示工程と、

更新手段が、属性再評価の結果に基づいて、前記オブジェクトの属性を更新する更新工程と

を更に有することを特徴とする請求項 12 に記載の画像処理方法。

【請求項 14】

前記表示指示工程は、

1つのジョブに含まれるオブジェクトから、オブジェクトのサイズ及びオブジェクトのエッジ数に基づいてオブジェクトを選別する選別工程と、

前記選別されたオブジェクトを選択可能に表示する画面を生成する画面生成工程とを有することを特徴とする請求項 13 に記載の画像処理方法。

【請求項 15】

受信手段が、画像をクライアントから受信する受信工程と、

実行手段が、過去に前記クライアントから別の画像を受信し、該別の画像を構成するオブジェクトに対して評価された属性の再評価を行ったという情報がある場合、前記受信工程にて受信した画像を構成するオブジェクトに対して属性の再評価を実行する実行工程と
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 16】

請求項 12 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のプログラムを記憶したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上述した課題を解決するために、本発明の画像処理装置は、クライアントから画像と該画像を構成するオブジェクトとを受信する受信手段と、前記クライアントの動作環境を、前記画像を構成するオブジェクトのメタデータとして保存する保存手段と、前記受信手段にて受信したオブジェクトの属性を評価する評価手段と、前記評価手段によって属性を評価されたオブジェクトの属性を再評価することが指示された場合に、前記属性の再評価を行った記録をメタデータとして記録する記録手段と、前記画像とは別の画像を受信する際、該画像に対して画像処理の指示をしたクライアントの動作環境が前記保存手段によって保存されたクライアントの動作環境と同一で、前記記録手段によって属性の再評価を行った記録が有る場合に、受信した前記別の画像を構成するオブジェクトの属性の再評価を実行する実行手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、本発明の画像処理装置は、画像をクライアントから受信する受信手段と、過去に前記クライアントから別の画像を受信し、該別の画像を構成するオブジェクトに対して評価された属性の再評価を行ったという情報がある場合、前記受信手段にて受信した画像を構成するオブジェクトに対して属性の再評価を実行する実行手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、本発明の画像処理方法は、受信手段が、クライアントから画像と該画像を構成するオブジェクトに対する画像処理の指示を受信する受信工程と、保存手段が、前記クライアントの動作環境を、前記画像を構成するオブジェクトのメタデータとして記憶部に保存する保存工程と、評価手段が、前記受信工程にて受信したオブジェクトの属性を評価する評価工程と、記録手段が、前記評価工程によって属性を評価されたオブジェクトの属性を再評価することが指示された場合に、前記属性の再評価を行った記録をメタデータとして記憶部に記録する記録工程と、実行手段が、前記画像とは別の画像を受信する際、該画像に対して画像処理の指示をしたクライアントの動作環境が前記保存工程にて保存されたクライアントの動作環境と同一で、前記属性の再評価を行った記録が有る場合に、受信した前記別の画像を構成するオブジェクトの属性の再評価を実行する実行工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、本発明の画像処理法補は、受信手段が、画像をクライアントから受信する受信工程と、実行手段が、過去に前記クライアントから別の画像を受信し、該別の画像を構成するオブジェクトに対して評価された属性の再評価を行ったという情報がある場合、前記受信工程にて受信した画像を構成するオブジェクトに対して属性の再評価を実行する実行工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】